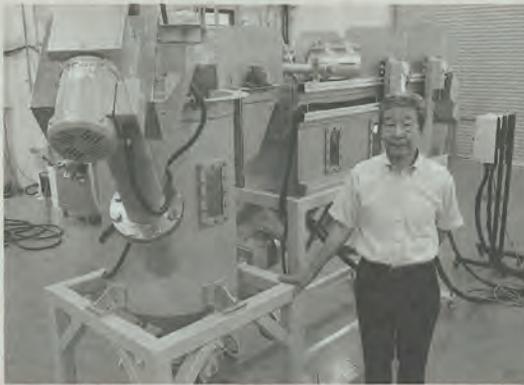


リサイクルで環境負荷軽減



「手間はかかるが環境負荷軽減につながる」と話す日本シームの福田理也社長と異素材に対応する選別装置「なるとカルテット」
—川口市安行北谷

日本シーム(川口市)

1977(昭和52)年創業の廃プラスチック再生機械メーカー。プラスチックの専門知識を生かし、自社で開発、設計、製造した製品によるプラスチックリサイクルプラント構築などを手がけ、廃材を原材料に変える機械や装置を提案する。(新井 護)

埼玉の現場から

福田理也取締役社長は自社の事業について「手間はかかるが、環境負荷の軽減につながる、やりがいのあるものづくり」と述べる。

今年5月に東京ビッグサイトで行われた「2025 N EW環境展」で初めて公開された「なるとカルテット」は、4種類を選別する。独自の渦水流技術と緩流分離技術を融合させ、「なると」のことで、装置内に発生させた渦で発泡体と軽量プラスチックを分離させる。その後、水槽内で比重差を利用して重量プラスチックや金属類を選別し、これまで複数の

廃プラを再資源化 純度高める

装置や工程を必要としていた選別処理を1台で可能にした。開発を担当した同社ソリューションズ代表取締役の鈴木大輔さんは「既存装置を合体させ開発しましたが、水流が素直に動かないなど、調整にはたいぶ時間がかかりました」と苦労を話す。構想から完成まで約1年。汚れや異物が混在しやすい、ポリエチレンやポリ塩化ビニル(PVC)など農薬用フィルムのような素材に対しても高い適応力を持ち、再資源化率を向上させた。現在、特許を申請中という。

廃プラの再資源化には「砕く」「洗う」「分ける」の3つの柱があり、なるとカルテットは「分ける」機能を担い、選別精度を安定化させ、再資源化へ純度をより高めることが期待されるという。福田社長は「廃プラは燃やして終わりでなく、生まれ変わることでできる素材。ペットボトルや容器トレイを洗って分別して捨てるのが、リサイクルに貢献していることを皆さんに知っていただきたい」と呼びかけている。

【7月】日本シーム(木口達也代表取締役CEO)、川口市安行北谷666、204 8・2008・7700。

1月の景気指数

自動車輸出など低調

内閣府が5日公表した7月景気動向指数は、現状を示す「一致指数」(2020年100)が前月より2.6ポイント悪化した。2・6ポイント悪化した。自動車輸出など低調が低調だったことが響いた。景気動向は6月と同じ「下止まり」とした。

数カ月先の景気を示す先行指数は0.8ポイント高い105.9となり、3カ月連続で影響が出た可能性がある。上がった。

地銀経営強化へ議論

金融審、年内に取りまとめ

金融庁の金融審議会は5日、作業部会で、地方銀行など、預金量が少なく規模が地域金融機関の機能が高まる「地域金融強化プラン」の方向性について議論を始めた。一因となっている。

口減少や少子高齢化に伴い、環境が厳しくなる中、必用する地銀のうち預金量が上位15行と下位15行の株価の推移を比較したところ、上位は2014年10月から25年8月までに7割近く上昇しているのに対し、下位は4割近く下落した。

信用金庫や信用組合でも劣化しているとの調査結果を示した。日銀の利上げで預金を集めやすい環境になったにもかかわらず、預金量が減る。ただ内閣府の担当者は「(減少が)一時的なものか今後も続くかどうかは現時点では分からない」と説明している。

一致指数の項目別では、自動車や半導体製造装置の輸出を含む「生産指数」(鉱工業)が減少。自動車関連ではこのほか「鉱工業用生産財出荷指数」や「耐久消費財出荷指数」なども減った。「有効求人倍率(除く学生)」や「輸出数量指数」も低調だった。

数カ月先の景気を示す先行指数は0.8ポイント高い105.9となり、3カ月連続で影響が出た可能性がある。上がった。

地方から「ユニコーン」

埼玉経済

企業、団体、商店街などの話題や情報をお寄せください
TEL 048-795-9161 FAX 048-653-9040

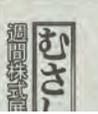
ユニコーンが開かれた。ベ成に向けて協賛出資や知見の共有を求めた。

返礼品の

来週は日銀消費者物価指数発表される。前年同月比の昇と伸びは前

インターネットインターネットアマゾンジャパン、5日、アマゾンジャパンの通販サイトを販売する事業者に向けて案内を始めた。仕組を通じ内には寄付の対応を通じた。

事業者の希望をまとめて自治体



米